

女性目線での避難所運営セミナー開催事業について

前回の作業部会での議論内容

男女共同参画の視点に立った防災対策の推進について

- ・備蓄品について、防災の基本は自助であることから、まずは家庭で何が必要かを話し合う機会を作る。
- ・災害対応＝力仕事というイメージがあるため、男性の役割だと思われがち。防災士の活動内容の周知やするとともに、災害対応にはどのようなものがあるかを整理し、自分たちにもできる防災活動があるのだと認識してもらう。
- ・防災士の PR 強化。
- ・家で活かせる知識が増えると PR につながる。

これを受け令和 8 年度では、安全安心課と協働で、女性の視点で考える防災セミナーの実施を検討しています。

対象

- ・防災士
- ・自主防災会
- ・住民

目的

- ・地域での防災を考える上で、女性の目線を取り入れることの重要性を知り、今後の防災に活かしてもらう。
- ・避難所の運営に女性の視点を取り入れることで、女性参画を促進する。
- ・女性防災リーダーの発掘。

内容

- ・講演
- ・避難所運営ゲーム（避難所で実際に起こり得る様々な課題を実体験）
- ・住民災害対応～タイムライン～（時系列で、災害発生前から災害発生後までどう動くのかを模擬体験しながら学ぶ）

講師

- ・NPO 法人奈良県防災士会
- ・講師派遣会社に委託
- ・一般社団法人 日本防災教育訓練センター